



毎月1日は『安全就業宣言の日』



9月の安全ニュース

まだまだ猛暑日は続きます。夏の疲れに注意！

お盆を過ぎ、暦の上で秋が近づきました。多くの人は「夏のピークは超えた」と感じますが、近年では9月になっても真夏並みの暑さが続くことがあります。

「少し涼しくなったから大丈夫」と油断せず、以下のポイントに注意し、早めの対策を心がけましょう。

9月熱中症予防 4つのポイント

① 朝晩の涼しさに油断しない

日中の気温を確認し、暑い日は無理をしないこと。

② 夏の疲れをためない

睡眠・食事をしっかりととり、疲れを感じたら早めに休むこと。

③ 水分補給を忘れない

涼しく感じて、作業中はこまめに水分・塩分を補給する。

④ 天候の変化にも注意する

9月は急な雨や蒸し暑さ、台風にも注意し、無理な作業は避ける。



○令和8年8月末現在の傷害事故件数（件）

転倒・転落	熱中症	その他	計
8	5	6	19

熱中症による事故が増えています。8月には、救急搬送される熱中症が3件発生しています。できるだけ1人作業は避け、複数人での作業を心がけましょう。

8月の事故事例・受託5件(傷害4件賠償1件)・派遣1件(傷害1件)

受託

8/2 草刈り作業後、熱中症の症状で、車内で意識が朦朧となり、救急搬送された。

8/3 公園清掃作業中、熱中症の症状で吐き気とふらつきの症状があり、その後動けなくなったため救急搬送された。

8/5 剪定作業のため、軽トラックを後退させて駐車する際、左後方が住宅の壁に接触し、損傷させた。

8/6 剪定作業中、三脚から足を滑らせて転落、左わき腹を強打し救急搬送された。肋骨を骨折し、脾臓から出血した。

8/6 墓地清掃作業後、動けなくなり、意識障害があったため、救急搬送され熱中症と診断された。

派遣

8/11 屋内清掃作業中に、頭上に棚があるのを忘れて、急に立ち上がり、棚の角に激突し、頭から流血した。

令和8年度安全スローガン

「手を抜くな 気を抜くな 慣れの油断が事故の元」



(公社) 鹿児島市シルバー人材センター 各班長は班員様への周知方よろしくお願いします。